

世界にはウシ、ブタ、ニワトリなど多くの家畜が存在します。家畜とは、その繁殖を人間が管理して、人間にとって役立つよう改良する動物のことを表します。その中で、国内外においてヤギが注目されています。

皆さんはヤギと聞くと何を思い浮かべるでしょうか。アルプスの少女ハイジに登場するユキちゃんのようにミルクを作るヤギでしょうか。それとも、某テレビ番組で取り扱われた散歩をするペットのようなヤギでしょうか。いずれに

## 国内外で注目される家畜・ヤギ

ます。特に乳用ヤギの飼養頭数は2003年からの20年間で1・4倍以上、ヤギ乳の生産量は約1・6倍になりました。チーズ好きな方であれば、ヤギチーズが広く販売されていることをご存知かと思えます。その中には国内産のチーズもあり、最近では国際チーズコンテストで高く評価されるものもあります。一方、ヤギ肉の生産量も世界で増えています。国内では沖繩を中心にヤギ肉の食文化がありますが、近年はアジア料理店で見かけることもあります。沖繩では伝統的に肉用ヤギを生産してきましたが、最近では供給量が不足気味で家畜市場でのヤギ価格が上昇しています。

出、家畜の展示や貸出などを行う場合に必要な動物取扱業の取得など、用途に応じて飼育者が果たさなければならぬ責任があります。そのような情報を共有し、国内でのヤギの振興を図ることを目的とした「全国山羊ネットワーク」が存在します。この団体は1999年に設立され、毎年、全国のヤギ好きたちが一堂に会する「全国山羊サミット」や、ヤギに関する研究発表を行う「日本山羊研究会」などを開催しています。

また、1年に2回の会報発行と共に、ウェブサイトで国内外のヤギに関する情報を提供しています。ヤギにご関心がありましたら、是非、当ネットワークのウェブサイトをご覧いただき、入会をご検討いただければ幸いです。

しても、世界ではヤギの飼養頭数が増加しており、その増える割合はウシやブタに比べて大きくなっています。



名城大学農学部准教授  
林 義明

はやし・よしあき 家畜飼養学。広島大学大学院国際協力研究科博士課程後期修了。博士（農学）。1972年生まれ。

# 多様な用途で活躍する家畜

他方、国内ではヤギによる除草例も増え、ちまたでヤギを見かけることがあるかもしれません。また、世界的にはカシミアなど毛を生産するヤギの存在や、ペットとして飼われる例もあ

ります。このように多様な目的で飼われるヤギですが、国内では家畜の健康や畜産物の安全性確保を目的とする飼養衛生管理基準の順守や家畜保健衛生所への届

時折、かわいさに魅了され衝動的にヤギを飼い始める方がありますが、飼育者、ヤギとともに残念な結果となる事例をしばしば耳にします。ヤギの飼い方、飼料の確保、病気やけがへの対応など、事前に十分な準備をしたらうえて飼いはじめることをお勧めします。

国内ではウシなどに比べてマイナーな家畜として扱われることもあるヤギですが、世界では主要な家畜であり、今後も多様な用途で活躍し、人間にとって役立つ動物として寄り添っていただけることを心から願っています。

